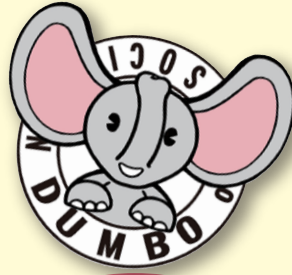


キラリ☆地域人

傾聴ボランティアグループ

ダンボの会



祝！
15周年特集

傾聴とは…一言でいうと「聴くこと!」です。

しかし、ただ聞くだけではありません。相手に寄り添いながら、言葉に込められた想いに「耳」「目」「心」を使って聞き、感じることで。自分の話を一生懸命聞いてもらい、心がとても軽くなり、元気になったことはありませんか？

ダンボの会の方々は、一人でも多くの方の心に寄り添う為、日々奮闘しています。

ダンボの会とは？

1人暮らしの高齢者や障がいがあり外出しにくい方など、人との関わりが少なくなっている方々の要望を受けて、月2回2人1組でご自宅へ伺い、1時間程度話し相手をさせていただくボランティアグループです。



ご自宅への傾聴訪問はペアになって行きます。「こんにちはー!」

あったかくて 良い会です。

体調を崩してしばらく休んでいたことがあって、久しぶりに月例会に行ったときに「元気になってよかった!」とみんなに声をかけてもらったことが今でも忘れられません。本当に温かくて良い会です。

いろいろな方、それぞれの人生に触れられる。

他人だから話せることや聞けることがあると思っています。たくさんの人と出会い、お話を聴くことで自分自身の成長にも繋がっています。

ボランティア活動を 長続きさせる秘訣は しっかり休むこと!

今までの活動を通してボランティア活動は体調を含め身体的、精神的に疲れた時はしっかり休むことが活動を長く続けられる秘訣だと思います!



傾聴に努め、聴くこと。 そっと寄り添うこと。

相手の息遣いに合わせることを心掛けています。もちろん話すこと、聴くことも大切ですが、そこにそっと寄り添ってあげることも大切だと学びました。

利用者の青木さんは「毎日一人で趣味の音楽を聞いたり、テレビを見たりしていても飽きしまうので、田村さん松本さんに来てもらってありがたいです」と仰っていました。

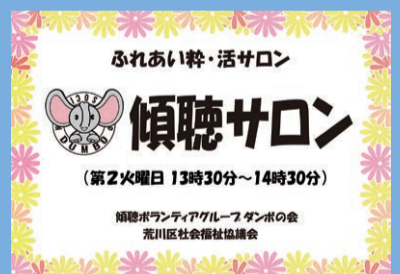
荒川区社会福祉協議会では、毎年傾聴ボランティアスクールを開講し、スクールを修了した希望者が、ダンボの会に所属しています。そのダンボの会も、今年で15周年を迎えました。ダンボの会では、みなさんの心に寄り添い続けていくために、15年間変わらず毎月第3木曜日には情報交換や勉強会を兼ねて月例会を行っています。また、傾聴訪問だけでなく、被災地支援やサロン活動等、数多くの場で傾聴ボランティアとして活躍してくれています。その他にも社協の様々なイベントで運営ボランティアとして活動して下さっています。ダンボの会の皆さん、いつもありがとうございます!!

サロン三ノ輪橋

サロン三ノ輪橋(傾聴サロン)は、自宅訪問を希望しない方やお話をいっぱい聞いて欲しい方、少しお話をしたい方など高齢者から子育て中の方まで、どなたでも歓迎しています。

毎月第2火曜日午後1時30分から荒川区社会福祉協議会の3階活動サロンで行っています。

ダンボの会のスタッフがおひとりおひとりのお話をじっくり伺います。コーヒーを飲みながらゆったりとお話しませんか? みなさん、ぜひ一度お気軽にお越しください!



「在宅の障がい児」の方へのお見舞品の配布希望申込みを受け付けます!

今年も、年末に「歳末たすけあい・地域福祉募金」を実施し、貴重な募金を財源にしたお見舞品を、民生委員の皆さんに依頼してお届けする予定です。

- 【対象要件】** ①平成29年12月31日現在、身体障害者手帳、または愛の手帳を所持し、荒川区内で在宅生活をしている18歳以下の方
②平成12年1月1日以後にお生まれの方で、民生委員・児童委員による戸別訪問を希望される方。
- 【申込方法】** ①身体障害者手帳、または、愛の手帳をコピーし(氏名、障害者手帳番号、住所、保護者名・続柄が確認できるように)余白に日中ご連絡が可能な電話番号を明記の上、下記、歳末たすけあい運動事務局まで封書にてご郵送ください。
②平成29年11月20日必着 ※封筒の端に「歳末募金見舞品申し込み」とご記入ください。

【問合せ・申込書送付先】 荒川区社会福祉協議会歳末たすけあい運動事務局 荒川区南千住1-13-20 TEL:3802-2794

